

士別市ボランティアセンターだより ふれあい

● 発行 ●

士別市ボランティアセンター
士別市東5条3丁目
サポートセンターしべつ
士別市社会福祉協議会内
TEL 22-3012
FAX 22-3019



手作りマスクボランティア

4月下旬から、ボランティアセンターで募集した、『手作りマスク・マスクの材料』ですが、多くの市民の皆様、団体様からたくさんご寄贈をいただきました。

手作りマスク

1,985枚

マスク材料(布、紐など)

延べ **30**件

(6月20日時点)



市内の保育園や幼稚園、児童館、自治会などの**51**団体に計**1603**枚お渡ししています。

↑ 3密に気を付けて、手作りマスクを作成されている様子

ご協力いただきました市民の皆様
心より感謝申し上げます

『手作りマスク・マスクの材料』の募集は**6月30日**をもちまして終了いたしました。今後とも士別市ボランティアセンターの活動にご協力をお願い致します。

ボランティアセンターのメンバーは月に一度、運営委員会を開き活動内容について話し合いをしています。今春よりコロナウイルス感染拡大を受け、多くの行事が延期や中止になりました。ボランティアセンターとして何ができるのかを相談した結果、マスクが不足している中で、必要な方々にお届けできたらとの話になり、社協に相談し準備を進め「手作りマスク」を市民の皆さまから募集する形を取るようになりました。同時に材料の受付も行い、マスクを作成していただける方にお渡ししました。

個人または団体からのご支援があり、当初の予想をはるかに超える枚数に驚き、感謝の気持ちでいっぱいになりました。市内店舗では、ミシンをはじめガーゼ、ゴム、糸と何もかもが不足していました。ゴムがないので、「できるところまで」と社協の窓口を持って来てくださった方。ゴムの代わりに白パンストが有効となり現在は使わなくなった未使用のパンストを提供してくださった医療従事者の方々も多くいます。

メンバーは善意が詰まったマスクを大切に確認させていただき、その上で消毒作業と袋詰めを行いました。



希望を伺い最初にお届けしたのは、北星保育園です。子どもは、汗をかき、汚すことも多いのでいくつあってもよいのでしょう。働きながらの子育ては、それだけで大変です。さらに今回の自粛生活で経済的なことはもちろん、親も子もストレスが溜まっているはず。

マスクを受け取った子どもたちは、「好きなキャラクターのマスクがあってうれしい」等と目をキラキラさせて喜んでいました。その後は、希望する自治会や団体にお渡ししました。

マスク作りは感染予防の効果とともに私たちの見えないつながりを再確認するきっかけになりました。早期に感染拡大が収束することを祈りつつ、次の波への備えが必要なのかもしれません。今回のできごとは「今までに経験したことのない災害」です。家にある材料を届けること、声かけあってマスクを作ること、感謝の言葉や笑顔は私たちに力を与えてくれます。支援の形はさまざまであることにも気づかされました。

